平成25年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月12日

上場会社名　東亜バルブエンジニアリング株式会社　　上場取引所　東 大
コード番号　6466　URL　http://www.toavalve.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 唐澤　裕一
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長　(氏名) 飯田　明彦　TEL 06-6416-1184

四半期報告書提出予定日　平成25年2月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年9月期第1四半期の連結業績(平成24年10月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年9月期第1四半期	2,017	2.2	△212	―	△202	―	△222	―
24年9月期第1四半期	1,973	△38.3	△40	―	△28	―	△194	―

(注)包括利益　25年9月期第1四半期　△181百万円　(―%)　24年9月期第1四半期　△197百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年9月期第1四半期	△95.37	―
24年9月期第1四半期	△83.50	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年9月期第1四半期	11,438	7,712	67.4
24年9月期	11,328	7,964	70.3

(参考) 自己資本　25年9月期第1四半期　7,712百万円　24年9月期　7,964百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年9月期	―	30.00	―	30.00	60.00
25年9月期	―				
25年9月期(予想)		―	―	―	―

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無
当社は定款において第2四半期末日と期末日を基準日と定めておりますが、現時点では当該基準日における配当予想額は未定であります。

3. 平成25年 9月期の連結業績予想(平成24年10月 1日～平成25年 9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	7,400	△30.1	△1,200	―	△1,200	―	―	―	―

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無
平成25年9月期につきましては年次での業績管理を行っておりますので、第2四半期(累計)の業績予想の記載を省略しております。また、通期の当期純利益につきましては、税効果会計の影響が現時点では想定不能であるため、未定であります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無
(注)詳細は、添付資料P.3「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年9月期1Q	2,678,600 株	24年9月期	2,678,600 株
② 期末自己株式数	25年9月期1Q	343,664 株	24年9月期	343,614 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年9月期1Q	2,334,974 株	24年9月期1Q	2,335,099 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きは終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（注記事項）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8
（５）セグメント情報等 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間（平成24年10月１日から平成24年12月31日まで）におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要に下支えされる中で、底堅い個人消費も相俟って緩やかな回復基調にあると考えられるものの、海外経済の減速による不透明感は依然払拭されず、まだまだ不確実性の高い中で推移いたしました。

当社グループは、原子力・火力発電所用バルブの製造・メンテナンスを主な事業としておりますが、東日本大震災の影響を受け発生した福島第一原子力発電所事故以降、主要顧客である原子力発電所向けマーケットの先行きについては依然、不確実性を拭いきれず、前第３四半期連結累計期間以降は原子力発電所関係のメンテナンス工事受注残高がほぼ無くなってきており、極めて厳しい状況となっております。

現在、中・長期経営計画の中で、原子力発電関連需要回復予測とそれに整合する経営資源の見直しを鋭意進めておりますが、原子力発電を取り巻く状況が日々変化する中にあっては、確実性の高い経営計画を策定する事は難しい状況にあります。取り急ぎは、既存マーケットへのアプローチ方法の見直しによる短期的な収益の確保と中期的な代替収益源の開発に重点的に取り組むこととし、昨年12月に設立した「七本の矢」作戦本部でこれらの収益拡大施策を一元管理することで、効率的且つ迅速な展開へと繋げるべく進めております。

このようにメンテナンスマーケットの不確実性が増す中、当第１四半期連結累計期間においては、まずは製造部門である本社工場、伊賀工場の稼動維持を重点課題とし、前連結会計年度に引き続き火力発電設備を中心とした全国的な提案型営業活動を展開し、加えて前連結会計年度に締結したプラントメーカーとのバルブ包括契約案件の受注など、工場稼動につながるバルブ製品・部品案件の受注確保を精力的に行ってまいりました。

また、原子力発電所の再稼動に向け、原子力規制委員会の安全基準作りが着々と進められる中、それを先取りした形で対策を打つ一般電力事業者、プラントメーカーと連携し、原子力発電所のシビアアクシデント（過酷事故）対策設備増設用バルブの受注に尽力してまいりました。

バルブメンテナンス部門においては、活動の中心を原子力発電所から火力発電所へ移しつつ、営業との連携をより強化しメンテナンスサービスの受注活動を進めておりますが、原子力発電所の運転が停止状態にあっては、それを代替する火力発電所はフル稼働の状況が続きメンテナンスもままならない為、なかなか受注に繋がらない非常に難しい環境になっております。

こういった中、粘り強い営業活動を幅広く展開することはもちろん、代替収益源のひとつとして、一昨年に発売いたしました「液圧ナット」の販売の拡大、原子力発電所に設置されたバルブ情報を一元的に管理し現場で即時に確認することを可能とするクラウドを活用したシステムの開発・販売、プラントの停止期間を最小限に留め高効率にメンテナンスを実現する各種バルブ現地改造工事提案、今後本格化するであろう原子力発電所廃炉事業参画の道筋をつけるための除染業務を通じた福島地区復興事業活動などの営業活動を行ってまいりました。

これらの結果、当第１四半期連結累計期間は、前連結会計年度に受注した海外向けバルブ製品及び部品の売上を中心に、売上高は20億17百万円（前年同四半期比2.2%増）となり、現時点の通期連結業績予想売上高74億円から見れば、まずまず好調なスタートとなりました。しかし「表：報告セグメント内の種類別売上高」のとおり、主力商品である原子力発電所定期検査工事が前年同四半期に比して93%もの大幅な減少となった結果、損益面では極めて厳しく、営業利益は２億12百万円の赤字、経常利益は２億２百万円の赤字、四半期純利益も２億22百万円の赤字となりました。

セグメント別の状況については、バルブ事業は売上高16億87百万円（前年同四半期比3.9％減）でほぼ前年同四半期並みですが、セグメント利益はメンテナンス収益が低調であったことから35百万円（同86.8％減）に留まりました。

製鋼事業は、特にプラントメーカー向け各種鋳鋼品の売上が好調で、売上高３億30百万円（前年同四半期比51.6％増）と前年同四半期に対し大幅な増収となりました。セグメント利益は42百万円の赤字（前年同四半期は80百万円の赤字）で、損益面では依然厳しい状況ですが、増収の効果で赤字幅を概ね半減することができました。

表：報告セグメント内の種類別売上高

報告セグメント	種類別の売上高	前第１四半期連結累計期間（百万円）	当第１四半期連結累計期間（百万円）	前年同四半期比（％）
バルブ事業	バルブ（新製弁）	483	612	26.7
	バルブ用取替補修部品	346	357	3.2
	原子力発電所定期検査工事	346	23	△93.1
	その他メンテナンス等の役務提供	579	694	19.8
小計		1,755	1,687	△3.9
製鋼事業	鋳鋼製品	217	330	51.6
合計		1,973	2,017	2.2

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第１四半期連結会計期間末の資産残高は114億38百万円で、前連結会計年度末に比して１億10百万円増加しました。四半期純損失の計上、前連結会計年度分の未払法人税等、未払の賞与、株主配当金の支払いなどの減少がありましたが、銀行借入れによる新規資金調達で７億円の現金及び預金の増加要因があり、資産合計は増加いたしました。

なお、当社グループの主要マーケットである原子力発電所の不確実性が依然継続していることから、その対策のひとつとして手許流動性強化に努めることとし、当第１四半期連結累計期間において金融機関から借入を実施しましたが、当座の運用のため15億円の有価証券を取得したことで現金及び預金が減少し、有価証券が増加しております。

負債残高は37億25百万円で、前連結会計年度末に比して３億61百万円増加いたしました。賞与引当金、未払法人税等がそれぞれ減少しましたが、新たに資金調達を行ったため短期借入金、長期借入金が増加したことで負債残高は増加いたしました。

純資産の残高は77億12百万円で、四半期純損失の計上と株主配当金の支払いにより、前連結会計年度末に比して２億51百万円減少いたしました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては、平成24年11月９日の「平成24年９月期　決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

２．サマリー情報（注記事項）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

（減価償却方法の変更）

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第１四半期連結会計期間より、平成24年10月１日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,515,733	1,683,830
受取手形及び売掛金	2,773,477	2,829,550
有価証券	320,021	1,518,934
商品及び製品	291,289	171,623
仕掛品	1,438,398	1,333,173
原材料及び貯蔵品	668,500	678,995
繰延税金資産	6,992	6,816
その他	76,435	52,339
貸倒引当金	△2,500	△4,000
流動資産合計	8,088,349	8,271,262
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	392,511	385,242
機械装置及び運搬具（純額）	1,034,161	988,838
土地	261,363	261,363
その他（純額）	162,196	161,347
有形固定資産合計	1,850,233	1,796,791
無形固定資産	607,966	565,394
投資その他の資産		
投資有価証券	392,069	450,118
繰延税金資産	342,453	306,651
その他	89,372	88,791
貸倒引当金	△42,340	△40,840
投資その他の資産合計	781,554	804,720
固定資産合計	3,239,753	3,166,906
資産合計	11,328,102	11,438,169
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	638,790	683,691
短期借入金	470,000	870,000
未払法人税等	164,921	5,723
賞与引当金	254,460	123,661
受注損失引当金	176,101	166,540
その他	572,418	539,834
流動負債合計	2,276,692	2,389,452
固定負債		
長期借入金	－	300,000
退職給付引当金	962,678	921,474
ＰＣＢ処理引当金	65,095	65,095
その他	59,570	49,940
固定負債合計	1,087,344	1,336,510
負債合計	3,364,036	3,725,962

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成24年９月30日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年12月31日）
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,739,559	1,739,559
資本剰余金	2,019,967	2,019,967
利益剰余金	4,758,359	4,465,621
自己株式	△615,536	△615,588
株主資本合計	7,902,350	7,609,560
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	63,421	101,703
為替換算調整勘定	△1,705	943
その他の包括利益累計額合計	61,715	102,646
純資産合計	7,964,065	7,712,206
負債純資産合計	11,328,102	11,438,169

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
売上高	1,973,701	2,017,747
売上原価	1,535,936	1,801,669
売上総利益	437,764	216,077
販売費及び一般管理費	478,727	428,365
営業損失（△）	△40,962	△212,287
営業外収益		
受取利息	4,092	1,759
受取配当金	5,052	3,947
雑収入	5,401	6,894
営業外収益合計	14,546	12,600
営業外費用		
支払利息	1,735	2,360
雑損失	125	340
営業外費用合計	1,860	2,701
経常損失（△）	△28,276	△202,388
特別損失		
固定資産処分損	2,081	－
投資有価証券評価損	176	－
特別損失合計	2,258	－
税金等調整前四半期純損失（△）	△30,535	△202,388
法人税、住民税及び事業税	4,333	4,090
法人税等調整額	160,101	16,210
法人税等合計	164,434	20,300
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△194,970	△222,688
四半期純損失（△）	△194,970	△222,688

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：千円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年10月１日 至　平成23年12月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年10月１日 至　平成24年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△194,970	△222,688
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△4,532	38,281
為替換算調整勘定	1,826	2,648
その他の包括利益合計	△2,706	40,930
四半期包括利益	△197,676	△181,758
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△197,676	△181,758
少数株主に係る四半期包括利益	－	－

（３）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（４）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
Ⅰ 前第１四半期連結累計期間（自平成23年10月１日 至平成23年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,755,953	217,747	1,973,701	－	1,973,701
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,755,953	217,747	1,973,701	－	1,973,701
セグメント利益又は損失（△）	270,528	△80,318	190,210	△231,173	△40,962

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△231,173千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

Ⅱ 当第１四半期連結累計期間（自平成24年10月１日 至平成24年12月31日）
１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			調整額（注）１	四半期連結損益計算書計上額（注）２
	バルブ事業	製鋼事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,687,580	330,167	2,017,747	－	2,017,747
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	1,687,580	330,167	2,017,747	－	2,017,747
セグメント利益又は損失（△）	35,696	△42,024	△6,327	△205,959	△212,287

（注）１．セグメント利益又は損失（△）の調整額△205,959千円は、報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費及び研究開発費であります。
２．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。